

(1) **44入計算**

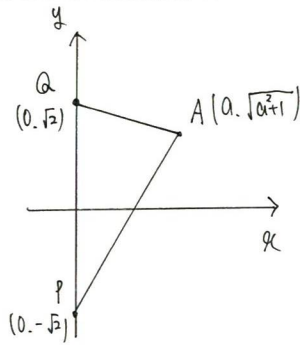
$$PA^2 = (a-0)^2 + (\sqrt{a^2+1} + \sqrt{2})^2$$

$$= a^2 + a^2 + 1 + 2\sqrt{2(a^2+1)} + 2$$

$$= 2a^2 + 3 + 2\sqrt{2(a^2+1)}$$

$$QA^2 = \dots$$

$$= 2a^2 + 3 - 2\sqrt{2(a^2+1)}$$



PA²とQA²を見れば、PAとQAが
二重根号になり、計算が丁寧い
よくなる。

44入

$$PA = \sqrt{2a^2 + 3 + 2\sqrt{2(a^2+1)}}$$

二重根号を外す時に必要は2が存在。

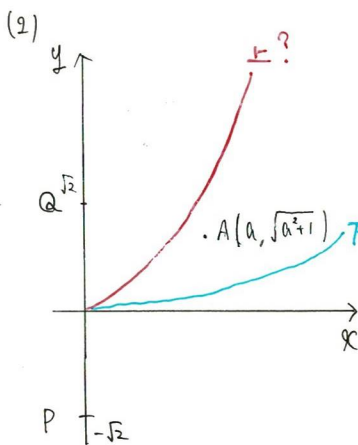
外(右に立ち戻す) ex) $\sqrt{3+2\sqrt{2}} = \sqrt{2+1}$
↑ 和 ↑ 積

和が2a²+3、積が2(a²+1)
には2か数は? ⇒ 2(a²+1) < 1 と気付く。

$$= \sqrt{2(a^2+1) + 1}^2 = \left| \sqrt{2(a^2+1) + 1} \right| = \sqrt{2(a^2+1) + 1}$$

同様に、QA = $\sqrt{2(a^2+1)} - 1$

よって PA - QA = $\sqrt{2(a^2+1) + 1} - (\sqrt{2(a^2+1)} - 1) = \frac{2}{\sqrt{2}}$
たのぞ、aによらず、その値は2。



放物線 $y = \frac{\sqrt{2}}{2}x^2$ が
点Aの上を通る、下を通るか
不明。調べる。

$\sqrt{a^2+1}$ と $\frac{\sqrt{2}}{2}a^2$ の大小は
調べる

大小の check は
不等式の証明。

√ があつて

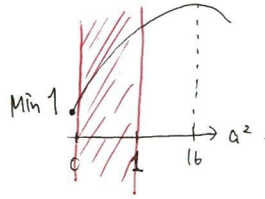
(2乗) - (2乗) を利用

$\sqrt{a^2+1} > 0$ から $\frac{\sqrt{2}}{2}a^2 \geq 0$ たのぞ!

$$(\sqrt{a^2+1})^2 - \left(\frac{\sqrt{2}}{2}a^2\right)^2 = -\frac{1}{32}a^4 + a^2 + 1$$

$$= -\frac{1}{32}(a^2 - 16)^2 + \frac{16^2}{32} + 1$$

0 ≤ a² ≤ 1 の範囲で最小値は
a² = 0 のとき、1 である。



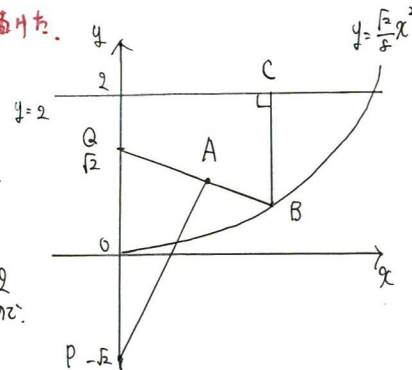
よって、 $(\sqrt{a^2+1})^2 - \left(\frac{\sqrt{2}}{2}a^2\right)^2 \geq 1$ たのぞ! $a^2+1 > \frac{\sqrt{2}}{2}a^2$ である。

以上より、点Aの下を放物線 $y = \frac{\sqrt{2}}{2}x^2$ が通る。

右図のようになる。図が描けた。

44入計算

次に、PA + AB + BC を
計算する。Sと書く。



(1) よって PA - QA = 2 ⇔ PA = QA + 2

S = PA + AB + BC

= (QA + 2) + AB + BC

= QB + BC + 2

図より QA + AB = QB

難 この時点で、「aによらず」と「点Aの場所によらず」
⇔「点Bの場所によらず」と読み変えられる。
つまり点Aは、この以降の計算では不要で、
点Bの座標だけを追えばよい。

B(b, c) とすると、 $y = \frac{\sqrt{2}}{2}x^2$ 上 たのぞ! $c = \frac{\sqrt{2}}{2}b^2 \dots ①$

QB² = (b-0)² + (c-√2)²

= b² + c² - 2√2c + 2

= 4√2c + c² - 2√2c + 2

= c² + 2√2c + 2

= (c + √2)²

∴ QB = |c + √2| = c + √2

BC = |2 - c|

= 2 - c

点A(a, sqrt(a^2+1)) には、0 ≤ a ≤ 1 から

sqrt(a^2+1) ≤ sqrt(2) となり、座標は、Q ≥ A となる

B, c も含めると c ≥ Q ≥ A ≥ B

よって S = QB + BC + 2

= c + √2 + 2 - c + 2 = 4 + √2

たのぞ、aによらず、一定値 $4 + \sqrt{2}$ である。